

眼科学入門

Intoroduction to Ophthalmology

キーワード

- ① 高度先進口腔医学
- ② 眼科学
- ③ 眼科検査
- ④ 眼科治療
- ⑤ 全身疾患と眼科

授業概要

感覚器の一部である眼に関する基礎的な知識、特に眼科検査、代表疾患を概説できるようにする。講義内容としては、眼科学総論として眼科解剖学、眼科検査の概要を紹介し、主要な症状である視力低下の診方、考え方を習得する。次に各論として代表的な疾患、白内障、緑内障、角結膜疾患、ぶどう膜炎、眼底疾患（糖尿病網膜症、加齢黄斑変性、網膜動静脈閉塞症など）、斜視・神経眼科疾患の病態、検査、診断、治療、また眼科における手術治療（顕微鏡手術、レーザー治療）について解説し、歯科医師が眼科学を用いて研究する能力の基本を養成することを目的として開講する。

授業科目の学修目標

このコースの目的は代表的な眼疾患の診断と治療、また主要な眼科検査を理解し、歯科疾患を含めた全身疾患との関連を修得することである。

授業計画

- ① 眼科学総論 解剖学 1コマ 病因論 1コマ 梶木恵一
- ② 眼科検査学 4コマ 梶木恵一
- ③ 疾患論（白内障 2コマ 緑内障 2コマ 角結膜疾患 2コマ ぶどう膜炎 2コマ 斜視・神経眼科疾患 4コマ 網膜疾患 4コマ） 全身疾患と眼科 2コマ 梶木恵一
- ④ 眼科治療学 2コマ 梶木恵一
- ⑤ 眼科倫理（献眼） 4コマ 梶木恵一

教科書および参考書

イラスト眼科（Bunkodo Illustrated Basic Series）、文光堂、渡辺 郁緒（著）、新美 勝彦（著）

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

教科書、または参考書の指定された部分を一読し、基礎的な知識を得たうえで、授業に参加する。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 眼の構造、眼球から視中枢までの視路を学び、そこから視力低下の考え方を理解する。
- ② 代表的な眼科検査の概要を修得し、歯科医学研究へ応用することができる。
- ③ 代表的な眼科疾患の概要を修得し、歯科疾患を含めた全身疾患との関連を理解する。
- ④ 薬物、レーザー、手術などの眼科治療の概要を説明できる。
- ⑤ 献眼を含めた眼科的倫理を理解する。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
70%	30%	0%	0%	0%	0%	0%

評価の要点

基本的な知識の評価は筆記試験似て行う。（70%） 各授業の最終に小テストを行いその都度理解度を評価する。 1%×30回=30%

理想的な達成レベルの目安

全体的な達成レベルは70%以上とする。